

(様式 3)

## 【上富田町】

### 校務DX計画

#### 1. 上富田町の校務DXに係る現状

本町では、令和元年度に校務支援システムの整備を完了し教員の働き方改革を推進してきました。令和2年度の1人1台端末導入後は、授業支援ソフトや学習eポータルを活用し、各種デジタル化・オンライン化を進めてきました。しかしながら、令和6年度の学校現場においては依然として紙ベースの資料が多くみられるのも事実です。そのため、業務の円滑化・効率化の観点から、各種デジタル化及びペーパーレス化を積極的に進めていく必要があると考えています。

#### 2. クラウドツールの活用

学校と保護者双方の負担軽減を目的として、学校からの文書の配布や保護者からの出欠連絡、各種アンケートへの回答などは可能な限りクラウドツールを活用したものへの改善を目指します。また、会議や研修の開催がオンライン上で可能なものについては、クラウドツールを活用しハイブリッド形式の導入を進めます。

#### 3. ペーパーレス化

職員間の情報共有は、一部ペーパーレス化が進んでいるが、申請や事務手続きについては、以前、紙文書が多く使用されているため、オンラインで受付、管理できるシステムの活用を図り文書のデジタル化を進めます。

#### 4. F A X ・押印の見直し

町内の小学校において学校間や外部とのやり取りでF A Xが使用され、保護者や外部との間において、押印が必要な書類のやり取りが行われている。校務の効率化のためにも関係機関との協議を行いF A Xや押印などについての制度や慣行などを見直し、事務の簡素化を進めます。

#### 5. その他

デジタルドリルなどの活用が進む一方で、学校現場では紙のテストの採点業務、成績処理などが教員の負担となっています。既存のソフトウェアを活用するなど、日常のテストのC B T化を行っている先進自治体の取り組みを参考とし、I C Tを活用した採点業務の効率化について調査研究します。